

京都の生協

No **24**

- ひとときトーク／嵐圭史さん
- 特集／京都の生協見てある記
——レポーター・竹中らんこ
- 連載／あなたも地球協同組合人
- 京都の生協紹介

発行/京都府生活協同組合連合会

February ● 1992

〒604 京都市中京区烏丸二条角 西和ビル 6F
TEL. 075-251-1551 FAX. 075-251-1555



ひとときトーク・ゲスト

嵐圭史さん

「生協運動でいえば、ただ与えられる文化ではなく、組合員のみなさん自身が参加し、創りあげていく文化、そこにロマンがありますね」



嵐圭史 (あらし・けいし) プロフィール

1940年、五代目嵐芳三郎の次男として東京に生まれる。1959年、俳優座演劇研究所附属俳優養成所を卒業、同年、前進座に入る。主な舞台に「心中天網島」(紙屋治兵衛)、「勸進帳」(富樫左衛門)、「怒る富士」(伊奈半左衛門)などがある。木下順二作「子午線の祀り」(平知盛)で、1985年紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞。著書に「知盛逍遙」(早川書房)がある。

「私はロマンというものを失ってはいけなく、常々言っているんです」と木原正雄京都府生協連会長が口にすれば、「そう、ロマンですね。私は生協のロマンについて感じるところが…」と前進座俳優の嵐圭史さん。ところは東京、銀座セゾン劇場の近く。ときは嵐さんが『子午線の祀り』第5次公演で、主役の平知盛として4時間を超える芝居を演じてきたばかりの1月16日、午後6時半。感動の余韻を残して、生協と文化活動のことなど、大いに語り合いました。

木原 『子午線の祀り』、堪能させていただきました。私は専門が経済学ですから、お芝居のことは門外漢ですが、優れた芸術にふれた思いです。嵐さんがお書きになった『知盛逍遙』を拝見させていただきましたが、難しいお芝居に挑戦され、見事に演じられました…。

嵐 ありがとうございます。『子午線の祀り』というのは、私たちの世界でも稀にみる論理的な演劇なんです。同時に、あれを芸術たらしめているのは、感性的にといいましょうか、非常に鋭い感覚でその論理がとらえられている。そこが観る側の、知覚と皮膚感覚をいたく刺激したのではないのでしょうか。これから先あんな戯曲が出るかな、と思われるくらい、やはり素晴らしい木下順二先生の作品だと思います。

■「よりよい暮らし」と生協の文化活動

木原 生協は「よりよい暮らし」を求めて、さまざまに取り組んでいるわけですが、私は単に「安

全」「安心」の商品だけでなく、もっと幅広い活動が必要で、その大切なことのひとつが組合員の文化活動だと思っています。一つ「知盛」を演じられた嵐さんの鋭い感性で、生協について感じておられることをお聞かせください。

嵐 生協がすごいなあと思いますのは、組合員が10万、20万という数になってきますと、そこにはその数だけの多様な価値観が持ち込まれるわけでしょう。単一の価値観を押しつけようとしても対応できない。そういうなかで、一つの理想をもって30年、40年と生協運動を育て発展させてきたわけですね。その意味で組合員さんの頑張りはもとより、原則性と大衆性、さらにいえば近代性といった点で、ここまで指導されてきた幹部の方々や職員さんは、本当に素晴らしい群像だと思います。

先生がおっしゃられた「よりよい暮らし」といった点では、やはり人間の豊かさの問題だと思いますし、結局それは“文化”なのですね。いま「豊かさ」については、いろんなところで語られています。例えば、人間の健康は果たして食べ物だけだろうか、心の栄養、精神の健康も考えなければならぬのではないかと…。この点で、組合員さんに私どもの演劇を観ていただく活動が、生協の文化活動を実践的に考える、小さな材料を提供していくことになれば嬉しいですね。

木原 京都の生協と前進座とのお付き合いは、京都生協が『柳橋物語』の鑑賞を取り組んだのが最初ですね。

嵐 あれは全国的にも初めてで、前進座の“生協特別企画”というかたちでした。『柳橋物語』は



山本周五郎さんが第2次世界大戦後に初めて書かれた作品で、山本さんは東京大空襲で奥さんを背負って逃げ惑ったそうです。物語は江戸時代の自

いま生協文化

活動にロマンをいだいて。

CONTENTS●

ひとときトーク／嵐圭史さん 1

特集●京都の生協見てある記

PART I / みんな元気DAY 4
 PART II / 大学事業連合 6
 PART III / 高齢者・福祉のとりのくみ 8
 PART IV / 国際交流・連帯 10

連載／協同組合とは何か 12
 TOPICS
 「基本的価値」をめぐる討論集会 14
 京都生協・滋賀物流センターが稼働 14
 ラオスを訪問して 15

第1回アジア・パシフィック環境会議 16
 インフォメーション 17
 塩貝信子さんを悼む 18
 気になるこの本 19
 京都の生協紹介 20

然災害に置き換えてありますし、戦争反対などの言葉は一つもないのですが、戦争体験のある組合員さんから「過去の戦争を思い出して胸がしめつけられる思いがした」というアンケートが返っていました。真実の愛、女性の自立、果ては“目で見える産直”といったことまで、組合員さんそれぞれの人生経験に照らした受けとめ方がなされていたように思います。

木原 そうした感動が、一人ひとりの組合員にもたらすものは大きいですね。受け取り方はさまざまだと思いますが、いまの戦争のお話にしても、理屈で言うよりも芝居の感動のほうが訴える力がある、ということがあります。

■協同を通じたふれあいに 生協の素晴らしさが

嵐 「生協」と「文化」の関わりでは、二つの側面があると思います。一つは、文化は生協の事業——例えばプレイガイド機構など——としても、もはや成り立つということです。それはそれで否定しませんが、私が生協のみなさんと文化の面で関わりを持ちたいと思うのは、決して、前進座の公演のチケットが生協のインフォメーションを通じて何百席か売れる、ということではないんです。

私は全国の生協を回らせていただいて、生協が発展したのは単に「安全・安心」だけではなく、「協同」を通じてのふれあいが生み出すエネルギーのすごさ、という側面があると強く感じたんです。「協同」ということを皮膚感覚で捉えた時のインパクトは強烈ですね。ふれあうということの意味を肌で知っている生協の組合員さんが演劇を観るといことは、そこで受けたメッセージを地域に持ちかえって、みなさんと語り合うことができる、感動を分かち合えるんです。

いい芸術にふれるということは、組合員さんご自身の感性を、時には知性も豊かにしますが、そうした場、そうした雰囲気地域社会に根づかせていく大きな役割を、生協のみなさんは果たせる

と、私は確信したんです。ですから演劇を「材料」にしてみなさんが、組合員活動の一つとして、どう料理して下さるか、そのための「材料」、メッセージを我々は送り続けたいと考えています。

木原 おっしゃるとおりです。生協の取り組む文化が単なるチケットの供給活動でしたら、それだけで終わってしまいます。それではロマンがありませんね。私は専門が経済学ですが、そこにもロ



マンが必要だと常々言っているんです。ロマンを失っては経済学は干からびた文化論になってしまうと(笑)。

嵐 生協運動でいえば、ただ与えられる文化ではなく、組合員のみなさん自身が参加し、創りあげていく文化、そこにロマンがありますね。

木原 京都の丹後地方で生協と前進座が手を結んで「さぶ」(山本周五郎原作)を上演されましたね。そこでは、単なる「事業」でないものがありましたでしょうか？

嵐 みごとでした。3地域4ステージ、約4千人の動員をやったのけたのですが、組合員4~5千

人のエリアで1千人を組織したことになります。成功した要因の一つは「政策」ですね。なぜ前進座か、生協と文化活動とは、ということがしっかり位置づけられました。その政策にもとづいて3地域に実行委員会がつくられ、それぞれ100人近く実行委員が集まりました。それを支えたのが生協の職員さんです。「政策」「仲間づくり」「職員の協力」と三拍子そろったことが、常識を超えた成功につながったと思います。

■生協文化活動の ロマンは？

木原 私、ちょっとつかぬ話をするのですが、前進座は財政的にはなりたっているのですか？ というのは、生協が取り組む前進座のお芝居は、非常に安い料金になっていますね。

嵐 東京では、商業劇場は1万2千円が相場ですし、昨年京都南座の顔見世は2万2千円でした。時代物は特にカツラや衣装、大道具、小道具、お囃子さんと、舞台費用がかさみますから、正直いって生協での料金設定は苦しいものがあります(笑)。

木原 今年、生協と前進座と提携して全国を上演する『怒る富士』(新田次郎原作)の料金はどのようになっていますか？

嵐 一昨年秋の前進座劇場での上演では6千円だったのですが、生協との関わりでは一つの運動としてやっていくということもありますから、全国的には4千円ということでも取り組んでいただきます。

木原 最近、主婦でも1万円札をもってパチンコ

に行くという話です(笑)。生の舞台を観て6千円でも高くはないのでしょうか…。

嵐 じつは、みやぎ生協で始まっているのですが、毎月千円の積立てを行っているんです。いうところのコープシアターですね。今年そのメンバーが5千人を突破しました。さまざまな文化要求があるわけですから、よい芸術にふれたいと願う組合員さんの手によって自主的に企画・運営され、みんなで観たい作品を選んでいくわけです。先ほど申し上げた丹後でもいま、コープシアターづくりの準備が始まりました。暖かくこの活動を見守って育ててください。この場をおかりして改めてお願いいたします(笑)。これも生協文化活動の一つのロマンだと思うのです。

木原 そうでしたか。「ロマン」を失わないと、いろんな智慧が生まれてくと改めて確信いたしました(笑)。生協の文化活動を通じて人と人がつながり、本物の芸術、感動に触れていくことができれば、「スーパー資本には真似できない」生協らしい取り組みになると思います。

■「怒る富士」で胸を打つ芝居を

嵐 今度、生協のみなさんに前進座の『怒る富士』を観ていただくわけですが、それを成功させるために何百人という組合員さんが、たいへんご苦勞をされる。そして忙しいなか、公演に足を運んでいただく。でも、最終的な責任は、組合員のみなさんが負うことはできない。それは我々舞台を創る側の人間に委ねられているわけです。我々が一人ひとりの心に届く舞台を演らないと、努力してくださった組合員さんの信頼を傷つけてしまう…。そこを肝に銘じて、みなさんの胸を打つ芝居をしたいと決意しています。

木原 さきほどの舞台を拝見させていただいても十分ですが、お話を聞いて、ますます期待が高まりました(笑)。いろいろご無理を申し上げることもあるかと思いますが、ひとつよろしくご協力ください。

見てある記



PART. 1

「みんな元気DAY」に連

はい、RANKOです。とにかく、「最近の生協がやっているのを見聞きして、文とマンガで綴ってくれ！」という話ですので、訳が分からないまま現場に直行。第一弾は「みんな元気DAY」です。

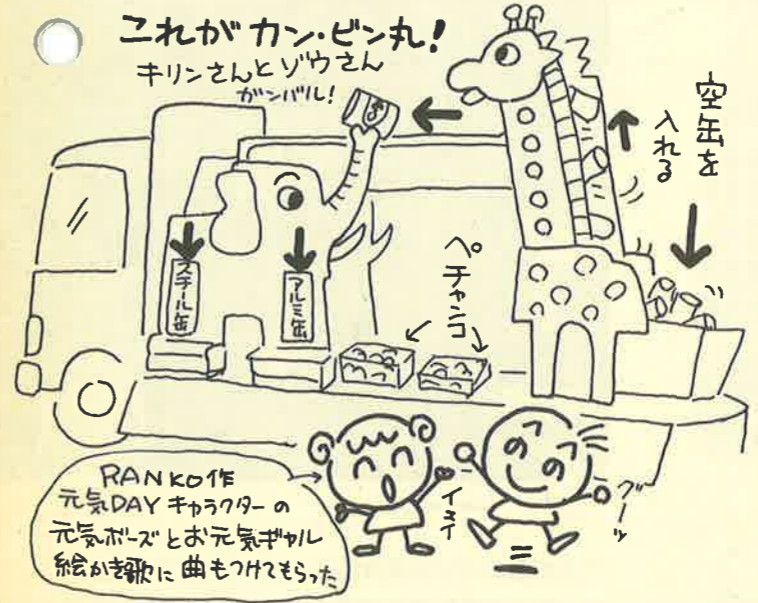
91年10月27日の日曜日、前日は大雨で当日も降ったり止んだりの嫌な空模様。ホンマにこんな天気でもやっているのかなどのぞいたら、みんな元気いっぱい。第一会場の宝池自動車教習所のテーマは「環境・福祉・人権」。共同作業所の障害者のみなさんが、70ものテントの中で日頃の仕事ぶりを紹介し、「一緒に体験してみよう」と呼

びかけています。京都生協のボランティアのみさんは、販売コーナーで活躍。どのテントもなかなかの賑わい。

おや、こっちの方では「環境キャンペーン」。担当しているのは京都消費者団体連絡協議会（京都消団連）で、牛乳パックを回収したり空き缶のコーナーも。おっと、なんかすごい車がありますよ。荷台の幌がパカッと開いて、現れいでたるは空き缶のプレス機。キリンさんの背中を、回収された空き缶が登っていくと、ペシャンコになった四角い金属の固まりが出てくるのです。名付けて「カン・ピン丸」とか。この日、初お目見



帯の笑顔、見つけた!



だそうです。会場はここだけではありません。足をのぼして宝池公園まで行くと、京都総評の40周年を記念するイベントや住民運動団体の模擬店、米・給食署名府民会議の「食糧府民まつり」が…。もう一つの会場はちょっと離れていて行けなかったけど、桂川河川敷。ここでは青年学生平和フェスティバルが行われました。

共同の輪の積み重ねのなかで

要するに、いろんな団体のいろんなお祭りがゴッチャになったイベントが、この「みんな元気DAY」。話の発端は京都府障害者共同作業所連絡会（共作連）の「第1回共作連まつり」（90年）。「もっと府民が手をつないだものにしたい」とい

お馴染みの漫画家・竹中らんさんにレポーターとなっただき、「地域社会の一員としての生協運動」をテーマにした京都の生協のさまざまな活動を紹介するなかで、生協の持つ可能性を探ってみました。

う話を京都府生活協同組合連合会や京都消団連、京都市職員労働組合に持ち込んだら、「それはいい」という話になって、それぞれが予定していたイベントをこの日に集中し、共同のお祭りにしてしまった、という次第のよう。といっても、やっぱり物事、そう簡単に進むはずなし。

何といても、京都生協が共作連と提携して作業所の商品の共同購入（共作連ふきん etc）に取り組んだり、お互いのイベントに参加するなどの積み重ねが、それを可能にしたのでしょうか（共作連と京都生協は90年5月に理念協定を締結）。そうそう、京都生協がやっている牛乳パックの回収も、地域の共同作業所と一緒にやっていると。そんな関係があるから、テントの中の顔が明るいんだと実感しました。



大学事業連合が30歳。今、働き盛り！

次に紹介するのは「大学生協京都事業連合」。すみません。私の出身大学には大学生協がなかったもんで…。おまけに「事業連合」と言われるとピンとこない。で、ちょっとお勉強。

「発足は1961年。京大、同志社、府立医大の三つの大学生協が助け合って、一つの事業体を作ろうと日本で初めて結成されました」と大学生協京都事業連合の長義一専務理事。「最初にやってきたことは、個々の大学生協がやっていた食材の仕入れを一本にまとめるということ。その方が量も大きくなって取引条件が良くなるでしょう」。フム、フム…。

それが30年もたつと、大きな変化を遂げたよう。全部、コンピュータでつないでいるとか。



座での「顔見世」観劇と記念企画がめじろ押し。絵画展は、フランス大使館をはじめとする関係者の協力のもとに実現させた独自企画。ピカソやシャガールなどの巨匠はもちろん、現在活躍中の作家の秀作まで100点余が並びました。クラシックコンサートも現在バリバリ売出し中のチェリスト・上村昇をソリストに迎えた京都市交響楽団の演奏(指揮・高関健)。取材して、なんともくやしくなりました。だって、私が学生のころと段違い。キョウビの学生はホント、うらやましいわア！

協では無理。生協同士が力を集めた「事業連合」があって初めてできることなのでしょう。

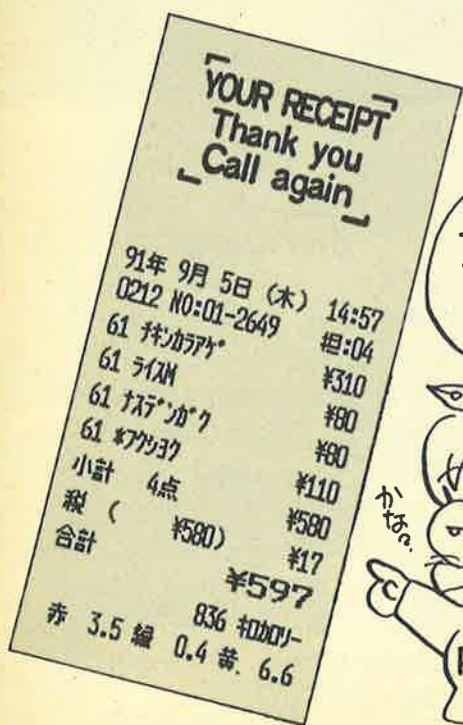
なんともうらやましい、キョウビの学生

ここは京都全日空ホテル。なんと「みんな元気DAY」の翌日、10月28日(なんてハードな日程なの!)の夕刻。大学生協京都事業連合の創立30周年を記念する式典・祝賀会が開かれています。受付で渡された「出席者ご芳名」を見たら、大学教授などの大学関係者はもちろんのこと、新聞社や出版社、取引のある大手企業まで代表者の氏名がズラリ。計323人が一堂に会しました。日常の事業連合の業務のなかで、こういう人たちと付き合いがあるのかと思うと、規模の大きさにビックリ。

この記念式典を皮切りに、「現代フランス巨匠絵画展」、クラシックコンサート、新装なった南

「5年前から12大学生協の本部や店舗と事業連合は、すべて通信でつながっています。お店でレジを打つと、自動的にホストコンピュータに登録されて、その店で何が売れて、現金はいくら、クレジットはいくら、ということが瞬時で分かるようになっていきます。食堂の仕入れにしても、出食計画を立てると、ジャガイモは何個必要かということもコンピュータが判断して、自動的に業者に発注するシステムです」。ギョギョ!それはもしかして、ギョーカイの最先端をいくシステムでは? 「他の飲食店と違うのは『食べ物売る』ではなくて、『学生の食と健康を保障していく』ということ。ですから、食堂のレシートには、『今あなたが食べる食事のカロリーはこれこれで、ビタミンはこれこれ、と打ち出されるようになっていきます。ウーン、恐れ入りました…。」

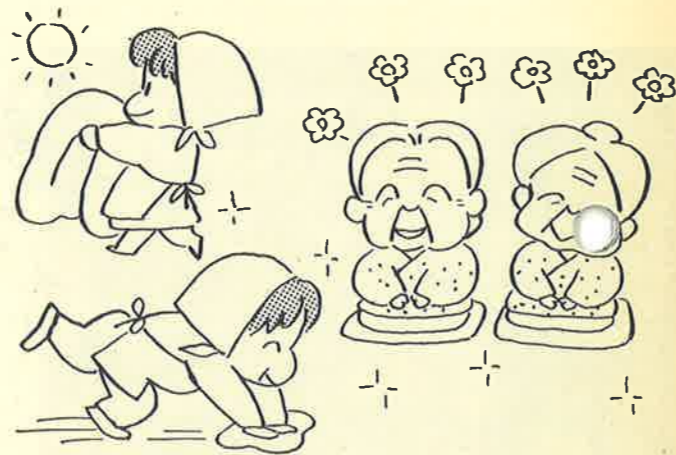
そんなすごいシステムは、確かに一つの大学生



366日、障害者問題を語る

「ご通行中の市民のみなさん、明けましておめでとうございます。1992年が始まりました」——ここは晴れ着姿が行き交う92年元旦の京都駅前、朝8時半。国連・障害者の10年最終年である92年の366日（ことしはうるう年ナンダ）、同じ場所、同じ時間に障害者問題への思いを市民一人ひとりが語りつないでいくという「マラソンスピーチ366」が出発しました。

トップバッターは、この企画「国連・障害者の10年最終年366日マラソンスピーチ」の代表であり、前京都府生協連会長の夏目文夫弁護士。松葉杖をつき、ハンドマイクを手にした夏目弁護士は「アメリカでは日本に見られない光景がある。そ



れは障害者が町に出ている光景だ」という話から始まり、筋ジストロフィー患者の高校入学が拒否された事例を挙げ、経済大国といわれながらも、一人の少年の人間としての権利を奪い、短い命を充実して生きることができるよう保障することを怠った行政に満身の怒りをぶつけました。聞く者を身震いさせるような、お腹の底から絞り上げるような声…。そして高らかに、「障害者の権利にとっての夜明けは、人間すべてにとっての権の夜明け」と結びました。

この企画、スゴイと思う。京都府生協連も実行委員会のスタッフに加わって、366日続けるために頑張っているという――。

暮らしの中でほんのちょっとの助け合い

もう一つ、生協が取り組む福祉の活動を紹介します。

所は京都市内のとある民家。「E子さぁん、来ましたよ、お元気？」と明るい声。慣れた様子で、さっさと玄関を上がると、E子さんは「朝から待ちかねましてん」とニコリ。訪ねたのは京都生協「くらしの助け合いの会」のメンバー。この日、83歳と78歳のE子さん姉妹の高齢者世帯を

マラソンスピーチがスタート。



訪ねたメンバーは、おふとんを上げて二階の物干しへ運び、掃除機をかけ、床を雑巾がけ。次はお買物に郵便局へのお使いと目が回るような忙しさ。二時間後には、おふとんはふっくらとして、一週間分の食料も収まって、「寒くなるから大事にしてくださいね」と声をかけて、「じゃあ、また一週間後に…」。

こんな活動を「微助っ人」（ビスケット）とネーミングした生協のみなさん。「ちょっと助け合うだけで、この町に住み続けられるんだから」とこうした「助け合い」を始めた、あったか〜い心が伝わってきます。

「くらしの助け合いの会」が京都生協のなかで最初に産声をあげたのは、この左京区。86年10月のことでした。いまでは上京区でも発足し、北区では、今年3月に設立総会が開かれます。

こうした経験をもとに、92年度は府内5つの行政区で「会」づくりの準備がすすんでいるとか。ささやかでも、福祉の貧困な日本にあって、さわやかな花一輪、見つけました。

もう一つ、シルバーパワー満開の「百まで生きよう会」のお話もあります。これは別枠で、「会」のみなさんからのレポートをご覧ください。

シルバーパワー満開 「百まで生きよう会」は花盛り

京都医療生協の中野信夫組合長が呼びかけた「百まで生きよう会」。中野氏自身80歳ですが「健やかに老いたい！“寝たきり”や“ボケ”にはなりたくない」という高齢者の願いを実現すべく集まった組織です。

月1回のゼミナールでは「歩いて長生きしよう」「お漏らしの話」「入れ歯」「肩こり、腰痛」など高齢者の関心の高いテーマで、第一線の医師が講演。毎回、会場はいっぱいの人で埋まり、すでに14回を数えています。



花と社寺めぐりの会例会

また健康法というのは頭で理解しても一人ではやりにくいもの。そこでみんなで集まったらとサークル作りも。「歩こう会」「花と社寺めぐりの会」「俳句」「社交ダンス」などが毎月の例会をもって活動しているほか、92年になって「写真クラブ」「囲碁の会」も発足しました。



いま、市民レベルの国際 連帯の時代なんですネ。



「環境問題—アジアと日本」(91年10月5日)



フィレンツェ生協と交流しました。



「第1回アジア・パシフィック環境会議」

「国際連帯」なんて楽しそう、と地球儀をくるくる回したい気分で浮かれていたなら、ちょっとしたカルチャーショックを受けてしまいました。

91年10月5日に開かれた京都府生協連設立40周年記念の国際シンポジウム「環境問題—アジアと日本」。日本では公害規制を受けて操業できなくなった企業が、規制のないアジア諸国に進出していった実態がひとしきり海外代表から報告され、日本人である参加者は恥じ入る思い…。ある代表が「公害企業の輸出ではなく、公害を止めさせた日本国民の運動が“輸出”されるのが大事」と言っていました。なるほど！ 旅の恥はかき捨てといいますが、日本企業の恥は、かなり“運動の国際連帯”をしないと消えないぞ、アジアと地球を救えないぞ、と肝に銘ずるのです。

いま市民レベルの国際交流と連帯が…

ところで、今年10月下旬に「ICA東京大会」が開かれるとか。ICAは「国際協同組合同盟」と呼ばれるもので、世界72カ国の農協・生協・信用・漁協・住宅・生産などのいろんな協同組合の組織で、世界人口の1割が組織されていて、NGO(非政府民間機構)の有力メンバーなんだって…。ぜーんぜん知らなかった。すごいね、生協って国際的なんだわ。なんでも「ロッチアール」(これは私も知っている)以来の協同組合の原則を見直すような大会になるらしい。だから「協同組合のそもそもの値打ちはどこにあるのか」という議論が国際的規模で活発に行われていて、そんなこんなで生協の国際連帯はいっそう進んでいるよう。

91年11月7日から14日にかけては、イタリアのフィレンツェ生協代表団が姉妹協定を結んでいる

京都生協を訪れました。フィレンツェ生協は組合員数が約29万人で供給高約740億円と、京都生協はほぼ同じ規模。カンパイニ理事長の講演会「1992年以降のイタリアでの消費における協同—フィレンツェ生協の挑戦」には約130人が参加。流通での競争の激化など、かたちは違っても日本とよく似た環境にあるフィレンツェ生協の取り組みに、熱心な質問が寄せられていました。

こんな生協同士の国際連帯・交流に加えて、最初にふれたような環境問題での交流も活発。12月7・8日にタイのバンコクで開かれた「第1回アジア・パシフィック環境会議」には京都府生協連から6人が参加したといえます(詳しい報告は16頁にあります)。聞けば、開催地のバンコクはひどい大気汚染で、1時間も歩くと喉が痛くなるとか。原因は車・バイクの排気ガスで、その車の90%は日本製。タイでは排気ガス規制がないので、

日本で売られている車にある排ガス規制装置はついていないのです！ やっぱり実際に現地に行くと、実感することって大切です。単なる観光旅行ではない、市民レベルの国際連帯—これが本当の「国際化」だと痛感しました。

以上、拙いレポートで京都の生協の活動ぶりが伝えられたかどうか心配ですが、その一端は紹介できたと思います。



協同組合とは何か

●目的・方法●

協同組合はある目的を実現するための組織です。その目的はどのようなものでしょう。また、どのようにして、その目的を実現するのでしょうか。

ニーズに応える協同組合

健康で安全な食生活、仕事を通じた自己実現、さまざまなニーズ(欲求)^(注1)を満たすために協同組合は存在しています。反対に、組合員のニーズに応えられない協同組合は存在し続けることができません。「組合員のニーズに応えられない協同組合」というのは自己矛盾です。協同組合は、ある目的を実現するために集まった人々集団であり、ある目的というのは実現が求められているニーズのことに他ならないからです。

協同組合の原点

人は社会的動物ですから、集団をつくって仲間と一緒にいることによって愛情や安らぎを得たいというニーズがあります。集団への加入、共同体的な感情などと並んで相互扶助も、こうしたニーズに応えていることとなります。これは協同組合の重要な役割のひとつです。むしろ協同組合の原点と言った方がいいかも知れません。しかし協同組合は経済活動を通じてニーズを満たそうとする組織でもあります。

経済活動をおこなう協同組合

ニーズの対象には、物、サービス、人間関係、名誉、社会的地位など、あらゆるものが含まれますが、ニーズを満たすためには何らかの手段が必

要です。それが協同組合では経済活動です。生活に必要な物やサービスの生産、分配、消費にかかわる人間の営みのことを経済活動と言いますが、協同組合が経済活動をおこなっているのは、協同組合が自分の力でニーズを満たそうとしているからに他なりません。営利活動によっては満たされないニーズが数多くあるからです。そして協同組合は経済活動をおこなうことによって厳しい競争にさらされることになりました。その代わり協同組合では組合員のニーズにきちんと応えられているかどうかは経済活動の結果としてただちに現われてきます。

組合員の発達が保証

他人にまかせるのではなく自分の力でニーズを満たすことを自助と言います。協同組合が経済活動をおこなうのは協同組合が自助組織だからです。

ところで自助と相互扶助は対立するように思われますが決してそうではありません。むしろ自助と相互扶助は補完関係にあります。自立していなければ、だれも助け合う主体にはなれないからです。協同組合のことを、組合員ひとりひとりが力をつけることによって目的を実現する組織だということも、このような意味からです。これが「自助にもとづく相互扶助」です。協同組合では組合員の発達の程度に応じて組合員のニーズを満たすことができるのですが、組合員の発達とはコミュニケーション能力の発達に他なりません。何が欲しいのか、何ができるのか、組合員がこれをはっきり伝えることができるようになることが協同組合

にとって決定的に重要です。

文化に由来するニーズ

やはりニーズには良いニーズと悪いニーズがあるのでしょうか。また協同組合がどのようなニーズに応えるべきかを判断する客観的基準は存在するのでしょうか。

マーケティング論の世界では、何が良いニーズか、何が悪いニーズかを知ることは無意味だと考えられています。このふたつを客観的に区別することが、事実上、不可能だからです。真実のニーズと商業主義によってつくられた偽りのニーズという区別も無意味です。広告について言えば、これは、ある商品にたいする需要を創出するのであってニーズをつくり出すではありません。まずニーズが先あって、後から、そのニーズを満たすような需要がつけられるのです。もちろんニーズを満たす方法については、道徳的に見て何が良く、何が悪いのかを判断することが可能でしょう。需要は人工的につくられますが、ニーズは文化に由来しているのです。

生活の質の向上

ニーズそのものに対する比判もあります。これは消費の拡大が自然破壊と資源不足を招いていて、ニーズは社会の長期的利益と必ずしも一致しないという事実にもとづくものです。ここでは単に提供される財やサービスの満足ではない生活の質の向上が追求されているのです。このような主張と同時に、省エネルギー、リサイクル、生活の簡素



速く力強い筆運びは努力と熱意を、左右に開いた構図は加盟メンバー6億組合員を有し、その歴史と伝統を誇る国際協同組合同盟を表わしています。デザイン全体では21世紀に向かって環境破壊や貧困と戦い、平和と人間を尊重する社会づくりをめざすICAの創意を象徴します。

化といった新しいニーズが登場しています。これは、深いところで文化が変わりはじめていることを示しています。新しいニーズは、それに応えようとする財やサービスが登場することによって顕在化しますが、協同組合は、はたして、この歴史的な変化に対応することができるのでしょうか。新しいニーズに応えることができるのでしょうか。

問われるコミュニケーションの質

協同組合運動は、これまで、産業革命、世紀末大不況、福祉国家の登場といった歴史の節目に遭遇して、そのたびに世代交替を繰り返してきました。では、どのような協同組合が、この世紀末に成長することができるのでしょうか。まず組織として何を達成したいのかが明白な協同組合です。組合員のどのようなニーズに応えるのか、この点がはっきりしている協同組合です。次に、その構成員が達成すべき目標を共有し何をすべきかをはっきり理解していることです。これは組合員、役員を問わず、組織の全員の問題として考える必要があります^(注2)。この成否はコミュニケーションの質にかかわっています。コミュニケーションこそ協同組合にとって最高の資源なのです。

(京都府立大学講師・的場信樹)

(注1) ジャン・ジャック・ランバン著、三浦信・三浦俊彦訳『戦略的マーケティング』嵯峨野書院、1990年、参照。

(注2) P.F. ドラッカー著、上田惇生・田代正美訳『非営利組織の経営』ダイヤモンド社、1991年、参照。

生協の「基本的価値」はどこにあるのか？

●協同組合の「基本的価値」をめぐる討論集會に130人

91年11月21日夜、『協同組合の「基本的価値」をめぐる討論集會』が、京都府生協連の主催により、コープ・イン京都で開かれました。生協の内外的参加者は130人。野村秀和・京都大学教授、田井修司・立命館大学教授から2つの報告がありました。報告では、生協の事業をめぐる、大型流通資本との競争がより厳しくなり、コモジヤパンなど生協相互の事業連帯がすすめられている状況と、そのなかでの生協の民主的運営や地域小売業者との連携などの姿が語られ、生協の「基本的価値」がどこにあるのか、何をめざすのかが問いかけられました。92年も「基本的価値」をめぐる集會がもたれる予定となっています。



京都生協・滋賀物流センターが全面稼働

中高年雇用福祉事業団との提携も！

京都生協・滋賀物流センターは、91年10月17日に竣工式を行い10月24日から全面稼働に入りました。

このセンターは、約一万坪の敷地面積に延床面積5437平方メートルの建物で構成されています。畜産品と水産品の冷凍加工施設とグロッサリー商品集品施設とキャンパスセット施設（共同購入商品案内書のセット）と職員福利厚生施設（食堂など）を持ったセンターです。この中の、加工施設は、バラ凍結装置を設置しトレイ不使用を進めています。入出荷プラットフォームにはエアシエーターを設置するなど原料・製品の品温管理を一段と高めています。キャンパスセット施設は、グロ

ッサリー商品と同時に各事業所に配送を行うことにより効率化を追求しています。グロッサリー集品施設は、共同購入の毎週企画で暮らしに欠かせない商品がまかなえる品揃えを実現する役割を担うため、最大180品目集品可能な機能を持っています。グロッサリー集品とキャンパスセットは、協同組合間提携として、すべての作業を中高年雇用福祉事業団（労働者協同組合）に担っていただいています。

滋賀物流センターは、新たな協同組合間提携を発展させ、新しくなる共同購入を担うことをめざします。

（京都生協滋賀物流センター長・三橋直義）

ラオスを訪問して

—アジアの一員としての日本—

12月9日から12日までラオスを訪問する機会がありました。京都生協では、昨年度のユニセフ募金(1012万円)をラオスへの指定募金とし、91年度の募金もラオスへ指定募金とすることを決定しています。今回、ラオスを訪問してみても実感したことを報告します。

ラオスって

ラオスはインドシナ半島の内陸国。日本の本州とほぼ同じ国土に420万の人口。国民一人当たりのGNPは130ドルと低く、「世界でも10番目に貧しい国」といわれています。この国は、内戦を経て1975年に独立した社会主義の国。しかし、経済難を打開するために5年前から自由経済政策を導入した若い国です。

「この国はミックスサラダだよ。プチトマトが多すぎたり、酢がききすぎたりでちょっとアンバランスだけれどね」。ラオス人の友人はこんなジョークをとばしていました。自由経済の導入によって、いまラオスは自給自足の経済から海外の資本に依存する経済に変わろうとしています。

ラオスの変わりゆく農村と援助の在り方

今回の訪問では、募金の運用に関わっているユニセフ事務所、ラオス女性同盟、JVC（日本国際ボランティアセンター）の協力を得て、スタッフとともに首都ビエンチャンを中心に周辺の農村の村々をまわってきました。

主都から80*のところにあるワンビエン村にゆく途中、赤土の舞う国道で何台かの材木を積んだトラックとすれちがいました。今年から森林保護のため、伐採は禁止されたようですが、材木が外貨を得る貴重な資源に変わりはないようです。その大半はタイを経由して日本に輸出されるようです。

首都から10km離れると、そこは農村です。農村に一步入ると高床式の住居で自給自足のくらしぶりです。ODAの援助でかんがい施設が整備され



ていますが、「あれは私の子どもたちが返済しなくてはならない」と、ある村人が語っていました。

「まず村人と話すことから始めなければいけません。共に考え、決めてゆく…」これは、ユニセフやJVCのスタッフの共通見解です。最近、日本のある団体がスタディーツアーでラオスを訪れ、子供たちがおかれた惨状をみて小学校をつくったようです。しかし、窓のある近代的なその小学校の人気はいまひとつ。どんなに立派な校舎があっても、先生や教科書がしっかりしていなくては(つい最近、国家公務員である先生の給与が3年ぶりに支給されたそうです)…。それに、いっばしの農業従業者である子供たちは、午前と午後のどちらかを選べるからこそ学校にゆくことができるくらしの問題もあります。いずれにしても課題は山積みされています。どこから手をつけてゆくか。

ユニセフのプロジェクトは、92年から教科書づくりや先生の研修の支援を積極的におこなうようです。JVCのスタッフは、自由経済の荒波から農村を守るために、池づくりや複合的な農業を指導し換金作物の生産の援助をすすめています。また、女性同盟は、6~7人もの子供を続けて産まないために（マニポン村では6割の母親が幼児を病気で亡くしている）「母子保健家族計画センター」など保健活動や、伝統織物の保存、育成のための計画を準備しています。

私たちにできることは、同じアジアの一員として、その国の人々が自立したくらしができるように「共に考え、決めてゆく」側面的な援助に徹することではないでしょうか。

（京都生協くらしの助け合いの会・平尾良治）

●バンコクで「第1回アジア・パシフィック環境会議」 求められる日本の責任自覚と役割発揮

12月7日・8日にタイのバンコクで開催された「第1回アジア・パシフィック環境会議」に京都府生協連から6名が参加してきました。

この会議は、日本環境会議とタイ環境クラブの主催で行われ、アジア8カ国から、研究者、弁護士、NGO代表など92名が参加しました。日本からは、宮本憲一大阪市立大教授をはじめ40名が参加しました。

会議では各国の環境問題の現状に関する調査レポート、問題の摘出、解決策の提起など約20人の報告があり、これらについて討議しました。

会場になったバンコクそのものがかなりひどい大気汚染に見舞われています。大阪からのメンバーが1時間ぐらい外を歩いていると喉が痛くなると言っていました。原因は車・バイクの排気ガスです。その車の90%、バイクの90%は日本製なのです。日本では排ガス規制がされていますが、タイは野放しであり、日本のメーカーはその技術を活かしていないのです。

レポートで特徴的なのは、発展途上国の開発と環境保護の問題です。そしてそこに、必ず関係しているのが、日本のODAや日本資本の参入です。たとえば、フィリピンのある地区での火力発電プラント建設では、その住民である漁民たちに対して、電気がほしければこれにサインしなさいと開発に合意させておきながら、実際発電プラントができると、環境破壊で豊富だった魚は激減し、漁民たちは漁で生活できなくなり、プラントで働かざるを得なくなってしまったのです。しかも、熟練工ではないためきわめて低賃金で働かされたのです。その結果、彼らは電気代を支払うことが



できなかったのです。住宅も環境の悪いところに移されてしまいました。豊かな資源に恵まれていた漁民はこうして資源を奪われ貧困になっていたという事例も紹介されました。

会議は最後に「アジア環境問題についてのバンコク宣言」を採択しました。宣言ではこのような事情を反映して日本に対して責任の自覚と役割発揮を求めるものとなりました。アジアは世界の中で今もっとも発展する可能性の高い地域であるだけに、そこでの環境問題が世界に与える影響も大きいのです。日本の振舞い方が注目されていることを知らせた会議でした。

(大学生協京都事業連合理事会室長・覧塔久信)

●インフォメーション●

アースデー京都集会

21世紀の人類の主要課題である環境問題
「自分たちの住んでいるところで、できることを！」

日時●4月22日(水)

昼の部 / 1時30分～映画「柳川堀割物語」上映

夜の部 / 6時～出版記念講演会

「アジアの環境問題と日本の責任」

会場●コープ・イン・京都

連絡先●京都消費者団体連絡協議会 ☎075-251-1001

講演と討論の夕べ

「バークレー生協はなぜ倒産したか」

●講師 日本生協連国際部長 栗本 昭氏

日時●2月26日(水) 開場18:30～20:30

会場●コープ・イン・京都

参加費●1000円

主催●京都府生活協同組合連合会 ☎075-251-1551
京都生協調査資料室

マラソンスピーチに あなたもご参加下さい!

国連・障害者の10年最終年のことし元旦から始まった“マラソンスピーチ”は雨の日も雪の日も、8時30分から10分間京都駅前ですえつづけています。話し手でも、またスタッフとしてでも、あなたの力をお寄せ下さい。

申込先●京都府生協連(西垣まで)

☎075-251-1551

好評発売中!
かもがわブックレット②

輸入食品

「国際化時代」の
安全性を問う

坂本 茂著

定価 450円



塩貝信子さん を悼む

乙訓医療生活協同組合理事長

蔡 東隆

1991年11月7日午前8時25分、塩貝信子さんは遂に69才の生涯を閉じました。人生80年まで10年余を残し、まだまだ第1線で活躍していただけるものと期待していた矢先、突然の病魔に襲われ7カ月余りの辛い闘病生活の甲斐もなく、とうとう帰らぬ人となってしまいました。この大切な時期に私たちの大切な仲間を失い哀惜の念を禁じ得ません。

乙訓地域で生協をはじめとする消費者運動やその他の地域活動を地道に続けておられた彼女の存在をかねてから存じあげていたのですが、実際にお付き合いをするようになったのは1984年9月に私たちが乙訓医療生協を設立し理事就任をお願いして快よくお引き受け頂いてからでした。爾来病床に臥すまで6年半に亘って理事を務め、特に最後の2年は副理事長の重責も果し更に京都府生協連の理事にも選ばれ多岐の活躍で数々の足跡を遺されました。

乙訓地域での生協づくり、京都生協理事、更にセンターの運営など、豊富な生協活動の経験を私たちの医療生協運動にも大いに生かしていただきました。組合員の交流活動、平和の活動、保健活動、診療所利用問題など多彩な活動に常に率先して参加し指導的役割を果され、文字通り私たちにっては欠かせぬ存在でした。又、彼女は私たち



の運動に参加した当初から医療生協と消費生協の連携・協力を強調し、機会ある毎に実践され成果をあげてきましたが、今後は私たちが彼女の意を体して更に連携の実をあげるよう努力を続けなければならないことを肝に銘じています。

塩貝さんは常に消費者の立場、組合員の立場を念頭に活動され、強い信念を持ちながらも心優しくソフトタッチでみんなの融和を図り、他の理事、職員、活動家の人たちの厚い信頼を受けていました。亡くなられたあとも、事ある毎に「こんな時に塩貝さんが居てくれたら」との思いにかられることが度々です。彼女の死によって私たちの医療生協にポッカリ穴があいたのを実感します。しかし残された私たちがこの穴を埋め、更に盛り上げていくことが彼女の死に報いる道だと思います。

京都生協、乙訓医療生協など、その半生を生協活動に専念した生協人・塩貝信子さんの功績を讃え、ここに慎んで哀悼の意を表します。安らかにお眠り下さい。

●気になるこの本●

環境にやさしい暮らしのアイデア

「834+1」

安斎育部・中川順子/監修
京都生活協同組合/編

かもがわ出版 1000円

家庭に一冊置きたい。

京都高齢者事業団
事務局次長

鍛谷宗孝

「残りごはんの活用法」一煎りあられ、おこし、ライスホットケーキ、五平餅、「残ったパンの活用法」。くいしんぼうの私は、どうしてもはじめに、家庭：食料のところに目がいってしまいます。どのアイデアもとても「おいしそう」。

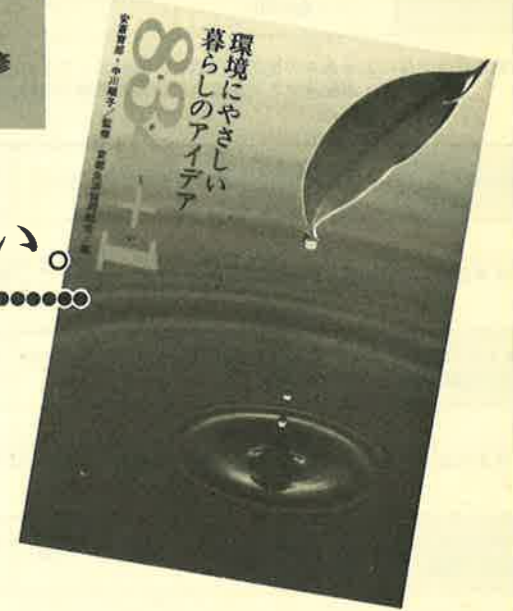
この本、誰がつくったのかと、編集後記に目をやると、「なるほど」、ここにこの本の本質と「生協」の本質、基礎力があるんだと、あらためて思いました。

「組合員みんなの思いでつくった」「多様な生き方を見せていただいた」、編集後記の短い文章、とっても素敵です。

「身の回りから環境問題にとりくんできました。しかし、……総合的な視点に立った活動を継続」していくことを、京都生協の環境政策では述べています。

私は、事業団＝労働者協同組合の活動していますが、身の回りの問題、総合的な視点に立った活動上の問題、それぞれについて「働くこと＝労働の問題」としていつも考えています。

家庭での暮らしのアイデアを読んで、食いしんぼうのカベをのり越えて考えさせられることは、立命館大学の中川順子さんの「環境にやさしいライフスタイルを考える」の中にも端的に示されているように、家事労働の本質と重要さということです。家事労働は、生命



を生み育てることに本質があると思いますがその領域が「もうけ主義の大量消費」構造に巻き込まれてしまっただけは、絶対いけな

他方で、環境にやさしいということは、裏をかえせば、地球上の生きとし生けるものすべての生命にやさしいということで、身の回りの問題と総合的な問題とは、実は「生命」という点で共通の問題だと思います。

りくつっぽくなりましたが、「生命」を守るという出発は、何べんくり返してもその大切さは色あせないのではないのでしょうか。

環境問題が、「自然現象ではなく社会現象そのもの」であり、それにとりくむのは、インタビューにのっている太田有美ちゃん (p. 34)、関根あゆみさんという生きた人間自身であること、こうしたことをあらためて考えさせられる一冊でありました。

「知っていることでも、実行するのはむずかしい」編集後記、家庭に一冊、おいておきたい本ですね。

京都の生協紹介

事業所名	所在地	代表者名	設立年月日	組合員数	出資高
京都生活協同組合	〒601 京都市南区吉祥院石原上川原町1番地の2	理事長 横関 武	1964年11月	304,921名	7,380,226,000円
<p>特長 ●提携関係にあるあみの生活協同組合の活動エリアをのぞき、京都府全域を活動エリアとする地域生協。組織率33.3%。17の支部から3万の班に週1回配達する共同購入と、30の店舗で供給。組合員の信頼の厚い食品を基礎に、生活関連商品を総合的に充実することを目ざしています。</p>					
京大生協	〒611 京都市左京区吉田本町	理事長 佐野哲郎	1949年5月25日	約21,900名	約380,000,000円
<p>特長 ●書籍・研究機器・旅行事業からフードサービスなど、「勉学研究活動を支える」事業をすすめています。</p>					
同志社大学消費生活協同組合	〒602 京都市上京区烏丸今出川上ル玄武町601番地	理事長 太田 進	1959年11月18日	20,278名	269,112,300円
<p>特長 ●同志社大学今出川校地、田辺校地の事業所を中心に同志社高校及び大学学生寮の食堂運営を行なっています。</p>					
立命館大学生活協同組合	〒603 京都市北区等持院北町56-1	理事長 山下高之	1962年2月15日	23,452名 (91・8・31現在)	331,747,000円 (91・8・31現在)
<p>特長 ●大学の福利厚生施策を担う重要なパートと位置付けられ、一層の役割発揮が期待されています。</p>					
京都府立医科大学・府立大学生活協同組合	〒602 京都市上京区河原町広小路梶井町465	理事長 芦原 司	1959年 12月26日	5,816名 (91年2月末)	41,021,000円 (91年2月末)
<p>特長 ●京都府立医科大学と京都府立大学の2つの大学を基盤として構成されています。また、医科大学附属病院内でも購買とレストランを運営するなど、全国の大学生協のなかでもユニークな存在です。現在、京都府と大学関係者の努力のなかで大学整備計画が着々と進行中で、私たち生協も一層関係者から愛される存在となるよう努力をしています。</p>					
龍谷大学生活協同組合	〒612 京都市伏見区深草西浦町4-2 龍谷大学学生会館内	理事長 中村尚司	1966年12月8日	11,860名	132,296,000円
<p>特長 ●学舎が大宮、深草、瀬田の3キャンパスに分かれています。大宮、深草については、生協だけの、いわゆる福利厚生事業をまかされていますが、瀬田学舎には、生協はありません。「瀬田にも生協を」の学内世論もたかまり期待に応え得るよう努力中です。</p>					
京都工芸繊維大学生活協同組合	〒606 京都市左京区松ヶ崎御所海道町 Tel 075-781-5359	理事長 野村元昭	1971年5月20日	3,714名 (91・5・1現在)	42,165,200円 (91・2末現在)
<p>特長 ●機械システム、電子情報、物質工学、造形工学、応用生物、高分子の6学科からなる理工系の大学。登校率が高く実験・実習は深夜まで続き、組合員の生協への期待は高まっています。</p>					
京都教育大学生活協同組合	〒612 京都市伏見区深草藤森町一番地	理事長 喜多村彪	1964年7月19日	1,937名	25,360,000円 (91年2月28日現在)
<p>特長 ●アットホームなキャンパスの中で豊かな学園生活をめざす事業と活動を旺盛に取り組んでいます。</p>					
京都橘女子学園生活協同組合	〒607 京都市山科区大宅山田町34番地	理事長 碓井敏正	1977年12月14日	1,611名	17,106,000円
<p>特長 ●京都の中で唯一、女子大学の中にある生協です。文具・研究機器から食堂・喫茶まで幅広く福利厚生事業を担っています。91年には、女子学生の参加で「オリジナルパフェ」を作り、学園生活にうるおいを作り出しています。</p>					

事業所名	所在地	代表者名	設立年月日	組合員数	出資高
京都府庁生活協同組合	〒602 京都市上京区下立売通新町西入	理事長 中村義明	1971年11月25日	8,300名	40,500,000円
<p>特長 ●京都唯一の職域生協として府職員に購買・サービス：食堂事業をおこなっています。</p>					
大学生協 京都事業連合	〒606 京都市左京区高野玉岡町23番地の3	理事長 伊吹良太郎	1971年3月1日	(会員生協数) 12会員	269,100,000円
<p>特長 ●京都・滋賀・奈良の12の大学生協の事業活動をバックアップするため、業務委託契約によって、事業計画の提案、共同仕入、店舗運営の指導、経理業務の共同化、システムの共同開発、運用などを行っています。</p>					
京都医療生活協同組合	〒604 京都市中京区千本丸太町下ル西側ラ・ルース丸太町2階	組合長 中野信夫	1950年4月25日	66,698名	76,688,500円
<p>特長 ●“ナカノ眼科”で知られる眼科診療所を4カ所開設。日帰りのできる白内障手術が喜ばれています。コンタクトレンズの供給では35年以上の経験を蓄積しています。</p>					
乙訓医療生活協同組合	〒617 向日市寺戸町西野辺13-4	理事長 蔡 東隆	1984年9月9日	2,264名	25,568,000円
<p>特長 ●往診や訪問看護を行う第1線の医療機関。</p>					
あみの生活協同組合	〒629-31 京都府竹野郡網野町字網野小字妹73番地の3	理事長 岡野時夫	1983年11月22日	2,013名	11,483,000円
<p>特長 ●地域内流通の共同購入と身近な環境問題を重点に運営しています。</p>					
泉竹生活協同組合	〒612 京都市伏見区両替町4丁目304番地 秋月ビル4F	森 清	1950年2月20日	829名	835,100円
<p>特長 ●地域生協 供給事業御用聞き</p>					
京都労働者住宅生活協同組合	〒604 京都市中京区壬生仙念町30番地の2	理事長 北林英二	1966年2月26日	3,938名	48,010,000円
<p>特長 ●勤労者向け住宅供給事業</p>					
全京都勤労者共済生活協同組合	〒604 京都市中京区壬生仙念町30	理事長 井上正夫	1960年5月1日	181,909名	577,823,500円
<p>特長 ●共済事業を営む生協法人</p>					
八条生活協同組合	〒600 京都市南区八条町434 ☎075-691-7238	岩崎 稔	1950年3月18日		

京都の生協MAP

- | | |
|---------------------------|------------------|
| ① 京都生活協同組合 | ⑩ 京都府庁生活協同組合 |
| ② 京都大学生協 | ⑪ 大学生協京都事業連合 |
| ③ 同志社大学消費生活協同組合 | ⑫ 京都医療生活協同組合 |
| ④ 立命館大学生生活協同組合 | ⑬ 乙訓医療生活協同組合 |
| ⑤ 京都府立医科大学・府立大学
生活協同組合 | ⑭ あみの生活協同組合 |
| ⑥ 龍谷大学生生活協同組合 | ⑮ 呉竹生活協同組合 |
| ⑦ 京都工芸繊維大学生生活協同組合 | ⑯ 京都労働者住宅生活協同組合 |
| ⑧ 京都教育大学生生活協同組合 | ⑰ 全京都勤労者共済生活協同組合 |
| ⑨ 京都橘女子学園生活協同組合 | ⑱ 八条生活協同組合 |

